

平成 28 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	福山市立湯田小学学校		
学校長氏名	大塚三喜男	栄養教諭氏名	黒川夕美
職員数	55名	児童・生徒数	862名

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

本校では食に関する全体計画を作成し、食育に取り組んできているが、昨年度の広島県教育委員会による食に関する実態調査や福山市教育委員による学校給食の調査の結果、次の3点について課題が見られた。

【課題】◆朝食の喫食率が低い。 ◆食事の挨拶が身に付いていない。 ◆給食の残食が多い。

	本校(H27年度)	県(H26年度)	市(H27年度)	学校目標
毎日朝食を食べる	93%	95%	93%	93%
食事の挨拶をする	75%	66%	75%	93%
給食の残食	2%	1.6%	1.6%	1.9%

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

今年度は、食に関する全体計画を見直し、発達段階に応じて目指す子どもの姿や成果指標を明確にした。

成果指標： 朝食喫食率 95% 食事の挨拶をする児童の割合78% 給食残食率 1.9%

各学年の食に関する指導の目標			
	低学年	中学年	高学年
めざす姿	なかよく、進んで食べる子	楽しく、好き嫌いせず食べる子	食事を楽しみ、バランスよく食べる子
心身の健康	いろいろな食べ物を食べようとするができる。	好き嫌いせずの残さず食べることができる。	栄養のバランスを考えて食べることができる。
社会性	友達となかよく食べることができる。	友達と協力し、楽しく食事ができる工夫をすることができる。	食事の準備や片付けを自ら進んで実践することができる。
感謝の心	心をこめて、食事のあいさつができる。	食事に関わる人々に感謝して食べることができる。	食事に関わる人々や自然の恵みに感謝して食べることができる。

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組1】（テーマ） 学校給食を活用した食に関する指導

(1) 第3学年 国語科 「すがたをかえる大豆」

給食だよりを活用し、教科書にある「ほとんど毎日口にしている」、「たくさんのえいようをふくんでいる」という内容について学習を深める。

（児童のワークシート）

- ・この勉強から、自分がいつも大豆を口にしていることや、教科書に書かれていることが本当だったことを確かめられました。
- ・最初は、「どうして大豆はこんなにたくさんの食品に姿をかえているのかな。」と思っていました。今日の勉強で、大豆はたくさんのえいようを含んでいるから姿をかえていることに気づきました

(2) 第5学年 総合的な学習の時間 「健康レストラン」

5年生は、自分たちを取り巻く食と環境について学習を重ね、そのまとめとして4年生をオリジナル料理でもてなしている。5年生は、家庭や栄養教諭のアドバイスをもとに、4年生が苦手とする食材を取り入れ、栄養バランスや味を工夫したオリジナルレシピを考案した。



食べる前に、4年生に料理の特徴や工夫したことを説明

(児童のワークシート) ～栄養教諭のアドバイスから分かったこと～

○みんなが食べやすいように工夫していること

- ・低学年には、骨が少ない魚の部位を用意していること
- ・食物アレルギー対応をしていること
- ・ピーマンやゴーヤの切り方などを工夫して、苦みを少なくしていること

〔 私は、1000人分を5人で作っている給食の先生が、とても責任感がないとできない重要な仕事を任されていることに驚きました。 〕

【取組2】(テーマ) 家庭・地域と連携した食育の推進

(1)食を取り入れたPTC活動 ～第4学年 身近なおやつを考える～

(カルビーによる出前授業)

児童は、普段食べているポテトチップスを例に、1日の目安となるおやつの量や食べる時間帯等について、保護者と共に学習した。



(2)PTA主催による親子料理教室の実施

PTAが主となり、今年度のひろしま給食100万食プロジェクトで決定した「ひろしま給食メニュー」に加え、本校の児童が応募したメニューを活用した料理教室を実施した。実施後、PTAは料理教室に関する掲示物を校内に展示する等、ひろしま給食の啓発に多大な協力をいただいた。



4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

(1)校内研修(家庭科)

ひろしま給食100万食プロジェクトで決定したひろしま給食メニューを教職員で調理実習を行った。給食調理員も参加し、切り方等についてアドバイスをした。実習後には、児童への支援の仕方や調理実習を通して気付いた教職員同士の「関わり」や「つながり」について意見交換し、あらゆる授業において「関わり」や「つながり」が尊重できるような活動を仕組んでいくこととした。

(2)食育通信による情報発信

食育通信を活用し、ひろしま給食100万食に係る情報を継続的に保護者に情報発信した。

※本校のホームページに通信を掲載

5 取組に対する成果と課題

【成果】

	目標値	H28年度	H27年度
毎日朝食を食べる	95%	96%(達成)	93%
食事の挨拶をする	78%	83%(達成)	75%
給食の残食	1.9%	1.9%(達成)	2%

【課題】

- 朝食の内容についてみると、主食・主菜・副菜がそろった朝食を食べている児童は67%であるため、内容について充実を図る必要がある。
- 学校目標では「挨拶をする」児童の目標値は93%であり、食事の挨拶について更なる取組が必要である。

6 今後の取組に向けた改善方策について

課題を解決するために、次のように取り組む。

- 食に関する全体計画、年間指導計画を見直し、数値による明確な指標を設定し、指標を踏まえた年間指導計画を作成する。
- 教職員の共通理解のもと食育を推進するように、各教科の指導計画に、食に関する全体計画、年間指導計画に示した食育の視点を位置付ける。